

未来を拓く。

とっとり
桃李国際高等学院
学校新聞

2016年度
12月1月合併号

12月・1月の月間校内目標

皆出席をめざそう



冬休み



冬休み期間 12月10日（土）～1月9日（月）

年末・年始は世の中全体があわただしくなり、予測していないトラブルに巻き込まれたり、気がゆるみやすくなり、様々な誘惑がある時期です。桃李国際高等学院の生徒として、社会のルールを守り、落ち着いた生活をおくるようにしましょう。

冬休み中の生活の注意

- 深夜の外出や、保護者に無断での外泊はしない
- 高校生としてふさわしくない場所（パチンコ店、不健全な飲食店等）に出入りしない
- 飲酒・喫煙・暴力行為・万引き等の非行行為は絶対にしない
- 休み中に、頭髮の脱色、染色などはしない
- 社会の一員として、人に迷惑をかけるような行為は絶対にしない



高3後期テスト・高1、高2冬期スクーリング

テスト・スクーリング期間 1月16日（月）～1月20日（金）

1月16日(月)～20日(金)の5日間、高3後期テスト。高1高2冬期スクーリングが実施されます。このテストとスクーリングは、高校卒業単位の取得のために、出席が必須の授業となっています。別紙で配布される時間割を確認し、体調に気をつけて、なるべくお休みの無いようにしましょう。

高3生レポート最終提出 1月20日（金）

テスト最終日にレポートを完全に回収します。回収後は、採点のみ行い、指導は行いません。レポートの内容等に不安がある生徒は、提出日までに担当教師に指導を受けておきましょう。提出日厳守。



12月学院長コラム

就職か進学か



高校卒業後、進学するか就職するか希望を聞いてみると、当校への入学時には決めていない人がかなり多い。しかし、3年生になるころには、徐々に進学希望が増える。

では、中学卒業の時点ではどうだろうか。高校へ進学するかそれとも中学卒業後すぐに就職するか悩む生徒を見ていると、進学より就職の方が明らかに容易で簡単に勤まると思っている人が多い。驚くべきことだ。実際は、正規の就職というよりほとんど無職か少し働くにしてもフリーターを考えているのかもしれない。

高校卒業後の進路として、進学と就職とを比較してみよう。まず第一に高卒後すぐに就職するには、本当は相当な覚悟が必要なのだ。実際、週休二日制としても平日は毎日朝早くから起きてきちんと職場へ行くことができなければ勤まらない。その上職場の上司や同僚とコミュニケーションをとって勤務しなければならない。高校卒業の時点で、そのような職業生活が勤まるだろうか。教師として不安な生徒が少なくない。

進学でなく、大学や専門学校へ進学する場合は、学生としての自由がある。社会人として未熟であっても許される。そう考えると、厳しい競争社会に飛び込むには、無理があるように感じる人が少なくない。高卒後2年か4年くらいは、学校という場所で種々のトレーニングを積み鍛えた方が良いように思う人が多いのだ。自信がない人は、進学を選ぶ事を進めたい。アルバイトをしながらでも進学して、もう少しの間猶予期間を持った方がよいと思われる人が多いのだ。

高卒就職の一般的な流れはどうなっているのだろうか。就職希望者のために年間のスケジュールを下表にまとめておこう。例年ほぼ同様である。

就職の流れ

月 日	業務内容
6月20日	ハローワークによる求人受付開始
7月 1日	高卒求人用IDとPWによって、「高卒就職情報WEB提供サービス」の高卒求人閲覧が可能となります。就職情報を見たい人は、先生に申し出て下さい。先生が情報をプリントして情報を提供することもできます。
9月 5日	学校推薦、応募書類の提出開始 ○9月30日までは、一人1社のみ、応募・推薦可能。 ○10月1日以降は、複数応募可能（ただし、一人2社まで）
9月16日	企業等の選考開始

この流れに乗るには3年生の4月ごろまでに、関心のある職種や地域を絞り込んでいく必要がある。

桃李国際高等学院 学院長 福田 洋